

JA全農えひめ情報

みくらんど

2022

2
Feb.

Mar.

3

特集

第38回 J A 愛媛県大会
創造的自己改革の実践



JA全農えひめ



▲「愛媛いよかん=いい予感」ポスター



▲受験生へのメッセージを添えてお届け



▲事前のお祓いの様子

▲マスク着用、距離を保ちながら1つ1つ丁寧に渡していきます

合格必勝「愛媛いよかん」 (東京・湯島天神)

1月から3月にかけて、全国シェア約9割を占める愛媛の柑橘・伊予柑が旬の季節を迎えています。艶のある濃い橙色の厚みのある皮に爪を立てればゆたかな芳香が鼻をくすぐり、一口食べるとプリッと弾力のある大粒果肉とたっぷり果汁が口の中に広がっていきます。濃厚な甘みとほどよい酸味も絶妙な爽やかさで、いい予感を感じさせる味わいです。

時期は折しも受験シーズン。JA全農えひめ果実課は毎年、『愛媛いよかん=いい予感』をコンセプトに受験生のいい予感(合格)への一助になればと、学問の神様・菅原道真公を祭る東京都文京区の湯島天神で合格祈願を受けた『愛媛いよかん』を配っています。今年は1月8日に2,000個を配布し、境内で伊予紺姿の女性が「いい予感が当たりますように」「縁起のいい伊予柑です」と手渡すと、受験生のこわばった表情も緩みます。昭和60年(1985)から続く37回目の恒例イベントは配布前から行列ができるほど。「3年前に子どもが高校受験で貰い見事合格したので、今年の大学受験も是非!」と訪れた親御さんもいらつしました。

令和3年産の生産予想量は前年比99%の2万384t(12月10日現在、県内JA集計分)。やや小玉傾向ながらも糖・酸ともに例年どおりのおいしい仕上がりです。この春、愛媛から全国へ、いい予感をお届けします。

めぐり〜ど

2022年2-3月号

CONTENTS

全農グループの経営理念

私たち全農グループは、
生産者と消費者を安心して結ぶ
懸け橋になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

○営農と生活を支援し、元気な産地
づくりに取り組みます。

○安全で新鮮な国産農畜産物を消費者
にお届けします。

○地球の環境保全に積極的に取り組
みます。

今月の表紙



イチゴはミステリアスな作物です。野菜？ それとも果物かな？ そして、イチゴのホントの果実は表面の粒々。1個のイチゴに200から300集まって、紅い実は茎の先の花床が膨らんだ偽り果実なんですね！ さらに、ビタミンCはミカンの2倍！ 眼の疲れにいいアントシアニンも豊富なので、テレワークなどおうち時間はイチゴを食べて癒されつつ、乗り切っていきましょう。

●表紙：イチゴ
はら ふみ（イラストレーター）

※『めぐり〜ど』は、「愛媛農業（Agriculture）」を「リード（Lead）」するという意味と「心をつなげる（Agreed）」という意味を込めています。

農の風景Vol.226

合格必勝「愛媛いよかん」

2

〈特集〉

第38回 JA 愛媛県大会
創造的自己改革の実践

5

トピックス

6

ふるさと ESSAY VOL.294

「玉津みかん」3年後の希望

清水 実郎さん

8

TOPIC NEWS

12

READERS通信

NOW NOW COOKING

〈今月の素材〉 ブロッコリー

JA全農えひめ

ホームページ

<http://www.eh.zennoh.or.jp>



■お取り寄せ・JA全農えひめ直販ショップ

<https://www.ja-town.com/shop/c/c7201/>

※愛媛の旬の農産物と加工品をお届けします！

■JA全農えひめ「えひめの食」企画

<http://www.eh.zennoh.or.jp/ehimenosyoku/>

※「えひめの食」では、旬の農産物情報を発信しています。

◆えひめ飲料

<http://www.ehime-inryo.co.jp>

◆JAえひめアイパックス㈱

<http://ai-pax.jp/>

◆JAえひめフレッシュフーズ㈱

<http://fresh-ranran.jp/>

◆えひめライス

<http://www.himerice.jp/>

◆JAえひめエネルギー㈱

<http://www.ja-ehimeene.co.jp>

◆JAえひめ物流㈱

<http://www.jat-ehime.co.jp/>



第38回JA愛媛県大会

創造的自己改革の実践

～組合員とともに愛媛の農業と地域の未来を拓く～



JAグループ愛媛は、12月13日、松山市で、「第38回JA愛媛県大会」を開催しました。大会には、JAグループ愛媛の生産者組織代表者、JA役職員など約300人が出席。「次世代へつなぐ愛媛農業と地域共生の未来づくり～普段の自己改革によるさらなる進化～」を基本方針として、JAグループ愛媛の今後3年間の取り組みを決議し、5つの重点取り組み事項を設定しました。また、大会では「県1JA構想（案）」を策定し、今後の協議の方向性を決定しました。JA全農えひめは、「農林水産業・地域の活力創造プラン」に係る取り組み「自己改革」を加速し、JAの取り組みを効果的に支援するための新たな事業モデルの構築とそれに対応する事業運営方式の見直しを図っていきます。

JAグループ愛媛は、組合員と地域にとつてなくてはならない存在であり続けるため、今回の大会において次の10年に向かって挑戦する「めざす姿」として「持続可能な農業の実現」「豊かでくらし

JAグループ愛媛のめざす姿

やすい地域社会の実現」「協同組合としての役割発揮」という3つのビジョンをあらためて提起し、次世代につなぐための5つの重点的に取り組むべき事項を設定します（右図のとおり）。また、JAグループ愛媛は第38回大会の実践期間において、「県1JA合併研究会」を設置し、各

JAグループ愛媛のめざす姿

次世代へつなぐ愛媛農業と地域共生の未来づくり

持続可能な農業の実現

豊かでくらしやすい地域共生社会の実現

協同組合としての役割発揮

農業・農村の危機

→担い手の減少と高齢化
→農業生産基盤の縮小・脆弱化
→過疎化・労働力不足 など

協同組合の危機

→コロナ禍による生活様式の変容
→組合員構成の変化等によるわがJA意識の低下 など

組織・農業・経営の危機

→早期警戒制度導入
→JA組織基盤の脆弱化
→マイナス金利政策長期化によるJA経営収支の悪化 など

次世代へつなぐための「5つの重点取り組み事項」

I. 次世代へつなぐ食料・農業基盤の確立

II. 持続可能な地域・組織・事業基盤の確立

III. 不断の自己改革の実践を支える経営基盤の強化

IV. 協同組合としての役割発揮を支える人づくり

V. 「食」「農」「地域」「JA」にかかる県民理解の醸成

組織や組合員等の意見を踏まえて組織整備の方向性を検討していきます。

こうした中、J A 全農えひめは営農経済事業について、次のとおり取り組みます。

営農経済事業 (J A 全農えひめ)

1. 生産基盤の確立

(1) 担い手育成支援

組合員・農業者の営農継続に資するため、「県域担い手サポートセンター」を核とした労働力支援、

新規就農者の確保等による担い手育成支援に取り組みます。

(2) 人材育成

J A 営農指導機能・営農企画機能を発揮するため、専門知識や実証データ、総合力(資材・技術・労働力等)を生かした人材育成の取り組みを進め、T A C 活動を強化するとともに未利用・低利用大規模経営体への満足度向上と J A の事業利用拡大を支援します。

(3) 生産トータルコスト低減

生産トータルコスト低減に向けたスマート農業の普及や肥料農薬の銘柄集約・事前予約とジェネリック農薬・担い手企画の普及促進、機能を絞った低価格農機の共同購入などによる資材価格引き下げに取り組みます。

2. 販売力の強化

(1) 県内農畜産物の販売拡大

組合員・農業者の所得増大と生産振興支援に向け、商品開発力強化による付加価値の拡大や e コマース事業拡大による県内産農畜

産物の販売拡大に取り組みます。

(2) アライアンスの推進

外部出資への出資・業務提携などによるアライアンスを推進し、量販店や加工業者等実需者への直接販売を主体とした事業展開ならびに実需者ニーズと産地の結び付きを強化します。

(3) ブランド力の強化

愛媛県オリジナル農畜産物の高品質生産対策ならびに更なるブランド力強化により、組合員・農業者の所得増大に取り組みます。

3. J A 営農・経済事業の課題解決および合理化・効率化の促進

(1) 経済事業メニューの提案

J A 営農・経済事業の課題解決に向け、中央会・連合会と連携して、全県域での「経済事業強化メニュー」の提案と実践を図ります。

(2) 運営効率化への取り組み

J A と全農の機能分担見直しによる J A と全農グループとの事業一体運営など、運営効率化の取り組みにより J A の運営コストを削

J A 全農えひめの取り組み方針

◆県内人口の減少・基幹的農業従事者の減少に歯止めがかからないなか、労働力支援事業の構築や生産トータルコスト低減など、県域農業団体として求められる役割・機能を発揮し、持続可能な生産基盤の確立に取り組みます。

◆組合員・農業従事者の所得増大に向け、マーケットインを軸とした販売力並びに商品開発力の強化と県内農畜産物の消費拡大に取り組みます。

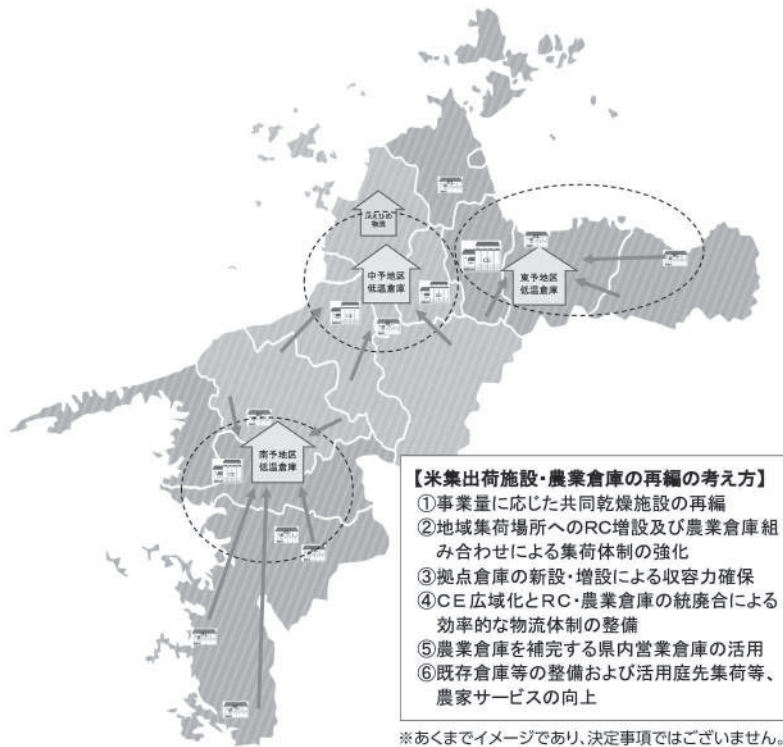
◆J A 支援事業を展開するなかで J A 営農・経済事業の課題をグループで共有し、事業運

営方式の見直しや県域ニーズに沿った経済事業強化メニューを策定し、J A 営農経済事業改革の支援による農家組合員へのサービス向上に努めます。

◆畜産生産基盤の維持拡大と食肉販売力強化を進めるにあたり、関連会社との機能集約による事業(生産・集荷・と畜・加工・販売)の最適化に取り組みます。

◆地域社会づくりへ貢献するため、地域のライフライン確保と総合エネルギー事業をめざした事業構築に取り組みます。

将来の県内農業施設（米）再編の検討方向（イメージ）



減し、組合員・農業者の利便性を強化します。

(3) 加工・物流システムの構築

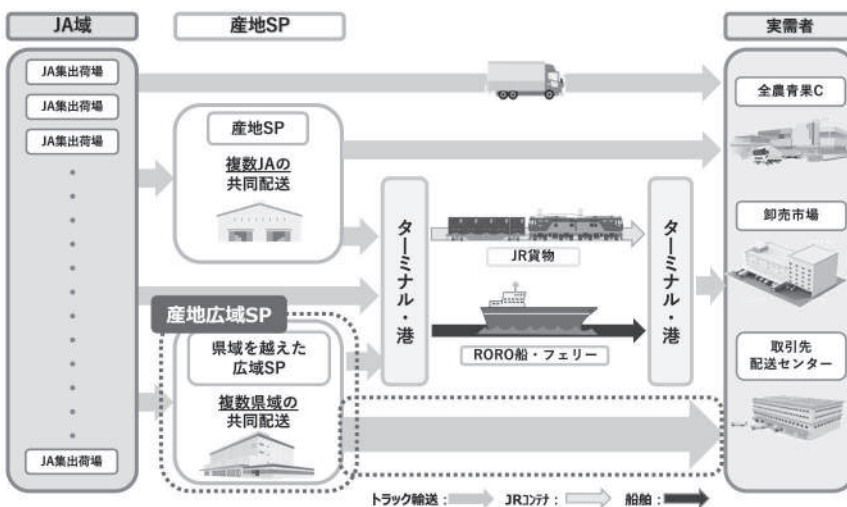
生産者の労力軽減や米麦・青果物等の物流課題解決に向けて、既存施設の広域利用や冷蔵・加工機能などを具備した広域集出荷施設、産地ストックポイント整備な

ど競争力のある加工・物流システムの構築に取り組みます。

(4) ITの活用

県域受発注システムや農家戸配の確立、購買・資材店舗の再編などJAグループ全体の業務効率の改善による低コスト供給体制の構築に向け、情報戦略やIT活用

ストックポイント設置による荷物の集約と共同配送による物流の合理化



の提案に取り組みます

4. 畜産生産基盤の維持拡大と食肉販売力強化

食肉センターへの機能集約および食肉販売拠点整備の観点から、集荷、と畜・加工、食肉販売、飼

料販売、契約生産や農場運営など畜産事業最適化の取り組みにより畜産生産基盤の強化に取り組みます。

5. 地域社会づくりへの貢献

(1) ライフラインの確保・支援

買物支援や高齢者対応など地域住民・組合員ニーズに対応したライフラインの確保を目指し、最適な運営方法に向けた取り組みを支援します。

(2) 環境負荷の軽減に配慮した施策

LPガス・電気・灯油・水素を含めカーボンニュートラルを踏まえた総合エネルギー事業を展開するとともに環境にやさしい資材の供給や技術の普及、地域未利用資源の活用・地域循環型の省エネの取り組みを通じて、JA・農業者段階での環境負荷軽減を支援します。

●令和3年度愛媛県総合畜産共進会「肉牛・肉豚の部」「交雑種・乳用種の部」

農林水産大臣賞に堀内博さんと(株)多田ファーム



大臣賞を受賞した(株)多田ファーム田中社長さん(左)と堀内博さん(右)



肉牛セリの様子

大洲市のJAえひめアイバックス(株)本社工場で、12月4日、令和3年度愛媛県総合畜産共進会「肉牛・肉豚の部」「交雑種・乳用種の部」の審査・表彰式が行われました。共進会は、県畜産協会が主催。農林水産大臣賞(優等賞首席)には、肉牛(黒毛和種)の部で堀内博さん(JAひがしうわ)、肉豚の部で(株)多田ファーム(JA愛媛たいき)が選ばれました。

肉牛の部(黒毛和種)は35頭、交雑種・乳用種の部は10頭が出品されました。肉牛の部では体型が良く、脂肪付着も良好で肉質4等級以上が97・1%と高く、生産者の高い技術がうかがえる共進会となりました。

大臣賞受賞の堀内さんは、「息子と共に優等賞主席を受賞することができた。来年も父子鷹で賞を目指したい」と語りました。

肉豚の部では、全体的に体型が良く、肉質面では良好な仕上がりとなり、脂肪の質・色も良く、等級上の割合が80%となりました。

大臣賞を受賞した(株)多田ファームの田中社長は、「コロナウイルスや、飼料の高騰、豚熱など大変なことが多い中、面白い話題をいただくことができた。従業員一同、この賞を糧にして来年も頑張りたい」と受賞に笑顔を見せました。

共進会終了後には、購買者25社が参加してJA全農ミートフーズ(株)主催の肉牛のセリを実施。昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策として、会場への入室を購買者のみに限定し、生産者はセリの様子を別室においてリモート配信で視聴しました。

1kg単価は堀内さんの出品牛が、4,590円(購買者(株)篠崎畜産精肉直売店)。黒毛和種の平均単価は2,910円と高値で取引されました。

なお、共進会では、県畜産功勞知事表彰として、近藤康夫さんから2人が表彰されました。

その他の受賞者は次の皆さん(敬称略・カッコ内はJA名)。

- 【肉牛の部】◆優等賞▽次席(堀内誠(ひがしうわ))▽3席(井上治宣(ひがしうわ))▽4席(氏原清時(えひめ南))▽5席(秦裕人(ひがしうわ))◆1等賞▽首席(畜産センター(愛媛たいき))▽次席(池田一成(えひめ南))▽3席(佐々木邦満(にしうわ))▽4席(山下祥雄(えひめ中央))▽5席(河野義徳(ひがしうわ))
- 【肉豚の部】◆優等賞次席(間仙高牧場(おちいまばり))
- 【交雑種・乳用種の部】◆優等賞(旬いとう(松山市))
- 【愛媛県畜産功勞知事表彰】(カッコ内は市町)▽近藤康夫(西条市)▽兵頭浩二(西予市)

ふるさと ESSAY

Vol.294



「玉津みかん」 3年後の希望

2021年6月、吉田町玉津の白浦地区にチェーンソーの音がこだました。3年前の災害からの再編復旧が始まった。多くの土地所有者、営農者が事業に合意して災害に強く生産性の高い園地への生まれ変わりを願ったのだ。工事区域には未被災園地も含まれる。そこは当たり前にかんが植わり、21年も実をつけていた。「この木はおいしい実をつける木だった」「この木は登り難かった」。就農から9年、やっと木ごとの特徴をつかみ始めていたところだった。そんな木を伐採するのは辛いが将来の園地のためだ。切られた木は急な傾斜を転がり落ちる。これまで作業をしていてもみかん、取りかご、時には人まで転がり落ちていた。工事が終われば傾斜に悩むことはない。糖度を左右する水はけの問題はあるが、元々マルチ栽培を行っていたため引き続き生産資材と技術を勉強していきたい。

災害後、「玉津柑橘倶楽部」という会社が生まれた。被災した園地を復活させるには時間と労力がかかる。復活しても、今と変わらない営農ができるかどうかはわからない。高齢の農家はこの災害を機に園地を手放すかもしれない。耕作放棄地が増え、災害の要因、病害虫、イノシシや害鳥の住みかとなる。それらの問題を食い止め50年後100年後も玉津のみかん産業を残すために、設立された。

高齢農家の作業支援、耕作放棄地の活用、アルバイターなどの活用による農繁期の人手の確保、重機のレンタル業務という農家への直接的な支援から、玉津共選から買い取った柑橘や加工品の販売、SNSやイベントの参加を通しての「玉津みかん」の広報活動という間接的な支援まで行っている。

私はアルバイターの割り振りを担当している。この業務で感じるのは多く

清水 実郎

JITSURO SIMIZU

■プロフィール■

みかん専業農家。

1982年（昭和57）9月26日、宇和島市吉田町出身、在住。

大阪の大学を卒業後、愛媛県内の高等学校・中学校で社会科の助教諭・講師として勤務する。

30歳を機に就農。祖父の開墾したみかん畑を3haに増園し、両親と一緒に極早生・早生・温州・紅まどんな・ボンカン・せとか・デコボン・河内晩柑まで栽培する。

趣味はバドミントンとゴルフで、ゴルフは目指せ100切り！

最近、保護猫を2匹引き取り、妻と一緒に愛でる毎日を送っている。



▲白浦地区の災害でえぐられた急斜面園地。山を削り谷を埋めてなだらかな地勢の園地にすべく、再編復旧が進む

の農家が人手の確保に苦慮していることである。みかん取りは天候と時間との勝負だ。間に合いそうになかったら人手を増やす必要があるが、みかん取りさんも高齢化が進み引退される。後任はすぐには見つからない。そんな問題を少しでも解決できたらと思う。

イベントでは直接消費者の方と触れ合うことができる。中でも記憶に残っているのはジュースのカップ販売をしている時、何度も何度もジュースを買っていく子どもがいた。一口飲むたびに「うまっ!」という、その様を見てその子の家族も笑顔になる。みかん作りをしてよかった、来年も頑張ろうと素直に思えた。

会社のメンバーは若手農家中心で構成されており、保育園や小学校から



▲ふるさとの海・法花津湾を背景に

知った仲である。気を使うことなく意見を出し合い、玉津や会社をよくするためにどうすればいいか考える。その先に夢見るのは問題を乗り越えた玉津ですべての農家が楽しく営農ができること、まだまだ道半ばです。

農業は毎年同じ条件ではない。天気、病気や害虫の発生状況、木の様子。それらに対して過去の経験をもとにして自分で臨機応変に対応していくことが必要である。農業後継者協議会にいたころ技術指導員からこんなことを言われた。「みかんが作れるのは1年に1回。みんなはもう一生かけても50回は作れないよ」。当たり前のことだけどそれを聞いて少ないと思ったことを覚えている。私は今年40歳になる。あと何回みかんを作れるのだろうか。作り続けたその先にジュースをおいしいそうに飲む子供の顔がまた見られるだろうか。

災害で失ったものは多い、時計の針は元に戻らない。だが、自らの手で進めることはできる。白浦地区の再編工事は令和7年には換地処分が始まる予定だ。3年後、どんな園地になるのだろうか。そしてそこにどんなみかんを植えようか。そうやって常に3年先に希望をもって努力をしていきたい。

第44回えひめみかん祭り

県内各地の柑橘30種類以上を一堂に集め 愛媛産柑橘の魅力をもPR!



様々な柑橘を販売

愛媛県果樹同志会、愛媛県、JA全農えひめなどは、1月22日と23日の2日間、松山市のいよてつ高島屋8階特設会場で、「第44回えひめみかん祭り」を開催しました。愛媛県産柑橘のPR・消費拡大と果樹農業の振興を図ろうと毎年開催しているイベント。今年は新型コロナウイルス感染症対策として、例年実施しているステージイベントや試食は中止とし、21日に開催した「果実コンクール」入賞果実や話題の新品種・珍しい品種、

「ほ場コンクール」優秀園地のパネル等の展示、柑橘の販売等を行いました。

また、今回は「みかん電車ミュージアム」絵画コンクールの表彰式を行い、上位入賞者4名を表彰しました。コンクールの最優秀賞および優秀賞の受賞者は次のとおり（敬称略）。

▽最優秀賞Ⅱ稲生桜介

▽優秀賞Ⅱ井原玲維、立花和己、兵頭礼桜



（左から）井原さん、立花さん、稲生さん、兵頭さん

第44回えひめみかん祭り果実・ほ場コンクール

農林水産大臣賞に玉井真吾さん（果実）と 矢野啓一さん（ほ場）

愛媛産柑橘の品質向上と果樹農家の生産意欲の高揚に向けて行われた「第44回えひめみかん祭り」果実・ほ場コンクールの結果が、1月22日、「えひめみかん祭り」会場で発表されました。農林水産大臣賞（優秀賞）には果実が玉井真吾さん（にしろわ）の「宮内伊予柑」、ほ場では矢野啓一さん（えひめ中央）の「愛媛果試第28号（施設）」の園地が選ばれました。

コンクール入賞者は次の皆さん（敬称略・カッコ内は品種名・JA名）。表彰式は、3月24日開催の愛媛県果樹同志会大会で行われます。

【果実コンクール】

▽優等賞Ⅱ石田英久（せとか・えひめ中央）、松崎征一郎（甘平・同）、前田晋（南柑20号・にしろわ）、八木勝幸（はるみ・えひめ中央）、坂本和久（不知火・同）、野本潤也（愛媛果試第28号・同）、中田久義（宮川早生・にしろわ）、菅直樹（はれひめ・おちいまばり）
▽優良賞Ⅱ住俊成（太田ポンカン）

にしろわ）、稲田壘（河内晩柑・えひめ南）、志賀秀男（甘平・東予園芸）、門屋吉輝（宮内伊予柑・えひめ中央）、青木聡（せとか・同）、吉岡勝利（久能温州・同）、宮内勇人（甘平・同）、能田英文（不知火・同）、山下達重（今津ポンカン・えひめ南）、福田正昭（レモン・おちいまばり）、菊池幸治（宮内伊予柑・にしろわ）、政岡俊一（せとか・えひめ中央）、佐々木章人（愛媛果試第28号・にしろわ）、田中浩二（清見・同）、福田慎一（不知火・えひめ中央）、西山聡（甘平・同）、白石勝一（南柑20号・にしろわ）、松岡誠敦（モロ・えひめ南）、上田眞砂寛（太田ポンカン・同）、野本武志（南柑20号・にしろわ）

【ほ場コンクール】

▽優等賞Ⅱ阿部孝次郎（愛媛果試第28号（施設）・おちいまばり）、大野健二（せとか（施設）・えひめ中央）
▽優良賞Ⅱ池本真吾（愛媛果試第28号（施設）・えひめ中央）、菊池安洋（南柑20号・にしろわ）

📷 オンライン就農体験ツアー開催

農業現場から生の情報を発信

J Aグループ愛媛担い手サポートセンター連絡協議会は、12月4日、オンラインで県内産地などを巡る「就農体験ツアー」を開催しました。

ツアーには、全国から申し込みがあった中から抽選で選ばれた10名が参加しました。紅まどんなの収穫風景や、みかんとサトイモの



オンラインで園地の様子を紹介

選果場が紹介されたほか、愛媛県が34年連続生産量日本一を誇るはだか麦を使った料理を実演。愛媛県イメーリアップキャラクターの「みきちゃん」も応援に駆け付け、ツアーを盛り上げました。

参加者からは来年度の就農支援制度や農作物の栽培技術について積極的な質問がありました。J A

全農えひめ営農支援課は「本来なら実際に愛媛に来て欲しかったが、逆にオンラインだからこそできるツアー内容を考え、愛媛と農業の魅力を伝えることができたと思う。このツアーが愛媛県での就農のきっかけになってくれれば」と話します。

なお、参加者には、事前に愛媛県特産の果実等を贈りました。

📷 「松山就農FEST」を開催

県内就農希望者を支援

J Aグループ愛媛担い手サポートセンター連絡協議会は、11月27日、松山市久米窪田町のテクノプラザ愛媛で「松山就農FEST」を開催しました。

「松山就農FEST」は、同協議会が毎年実施している大都市圏での就農相談会に加え、県内の就農希望者にも対応するため、今回が初の開催。

会場では県内J Aや農業法人・生産者がブースを構え、J Aの研修制度の活用や自立までの流れなどを説明。相談者は説明内容をメモに取るなど、熱心に聞き入っていました。

J A全農えひめ営農支援課は「新規就農に向けた研修・雇用など、J Aがサポートできる面がいろいろあることを知ってもらえたと思う。県内就農希望者のため、今後も継続実施していきたい」と話します。

📷 成約実績目標を達成

J A石碑大展示予約会

J A全農えひめと県内J Aは、12月10日から12日までの3日間、(株)イワイ本社（松山市石手寺前）をはじめ、四国中央店・西条店・今治店・大洲店・宇和島店の県内6か所の特設展示場で、J A組員限定の「J A石碑大展示予約会」を開催しました。

会場には、良質で厳選された愛媛の銘石「大島石」など各種石碑を豊富に取り揃え、墓石の完成時の形がイメージできるような納骨舞台を含めたセット墓から小物まで大量に展示。期間中多くの方が来場し、目標を上回る1億円以上の成約実績をあげました。



2021 JA愛媛農機ビッグフェア

JA農機総合展示会を2年振りに開催

県内JAとJA全農えひめ農機課は、12月3日・4日の2日間、松山市のアイテムえひめで取扱メーカー等の協力を得て、県内統一の農機総合展示会「2021 JA愛媛農機ビッグフェア」を開きました。

フェアは、農機の計画的・効率的な適正導入の促進、効率生産に役立つ作業体系の提案や省力機械



の普及促進、新機種・新製品の説明・研修などを目的に開催しており、今年で30回目。新型コロナウイルス感染症予防策として、例年実施しているバス動員やオークション等の人が密集するイベントを取りやめ、イベントスタッフ全員の抗原検査の実施、来場者の検温、消毒の徹底、会場内でのマスク着用等万全の対策に取り組みました。

フェアには大型農機から小物資材までメーカー19社が参加。大規模効率生産に対応できる高性能機械・省力機械、野菜作関連機械、新製品や小物特価品等を多数展示しました。

JA全農えひめコーナリでは、肥料農薬・園芸資材の低コスト資材やZIGIS（圃場管理システム）の紹介、米の食味分析・簡易土壌診断などを行いました。

期間中は、県内外から654人が来場し、最新農機のデモンストレーションなどを通じて性能や特徴などを確認していました。

「ひめライスキャンペーン」抽選会実施

キャンペーン当選者550人決まる

㈱ひめライスは、12月7日、松前町の本社で、伊予牛「絹の味」や「ふれ愛・媛ポーク」などが当たる「ひめライスキャンペーン」の抽選会を行い、松田一人社長らが、約17,000通の応募の中から当選者550人を選びました。

同キャンペーンは、コロナ禍に



においても、愛媛県産の美味しい新米を食べることで、消費者の健康ならびに活力ある愛媛農業の推進を応援しようと、10月1日から11月30日で実施。期間中はテレビCMやリーフレットを通じて、愛媛県産米のおいしさをアピールしたほか、量販店で「ひめの凩」をはじめとした県内産の新米コーナーの設置（53店舗）などに取り組みました。応募ハガキには、「コロナで外出や旅行が出来ずストレスの多い中、ひめライスの美味しいご飯を食べただけで安心して和める」「ひめの凩を昨年は買いそびれてしまったので今回初めて買ったがとても美味しかった」などの声が寄せられました。

今後もテレビCM放映等を通じて県内産米のPRと販売拡大を目指します。

JA全農特別表彰

愛媛さとも広域選果場が理事長賞を受賞

愛媛さとも広域選果場は11月24日、JA全農が実施する特別表彰理事長賞を受賞しました。

この表彰は、組合員の農業の振興、経済状態の改善および社会的地位の向上に寄与する取り組みに対して行われるもの。農家所得向上と産地基盤強化を図るために東予地区4JAの里芋選果施設の集約化を図り、種いもの生産供給・統一栽培指針(肥料・農薬・栽培管理など)を行うとともに、各JA指導員が他JA圃場も一緒に巡回し、栽培技術の高位平準化に取り組んだことが評価されました。

愛媛さとも広域選果場の岡本昌樹所長は、「愛媛さとも広域選果場に係るJAをはじめ生産者、関係機関など多くの方々の支援や協力があつたからこそこの受賞。この賞に恥じぬよう今後も取り組みを続けていきたい」と話します。

第3回全農杯小学生カーリング選手権大会

愛媛県選手が全国初入賞!

12月26日、横浜市の横浜銀行アイスアリーナで第3回全農杯全日本小学生カーリング選手権大会が開かれ、松山市立宮前小学校6年生の稲益彩人さんが所属するチーム西日本(岡山県との合同チーム)が小学生の部で準優勝しました。

この大会は全日本カーリング協会が主催。各地区予選を勝ち残った8チームが出場する中、競技環境の整っている北国勢に競り勝つての快挙を成し遂げました。また、愛媛県勢としては初の全国大会入賞となりました。JA全農えひめは、参加選手・保護者向けPRブース「もぐもぐブース」で「POM愛媛みかんストレート」を提供しました。



西日本チームと共に表彰を受ける稲益さん(中央右)

社会福祉協議会贈呈式

県内15の児童福祉施設に、もち米とジュースを提供

JA全農えひめは、愛媛県社会福祉協議会を通じて県内15の児童福祉施設に、「ひめライス」のもち米580kgと「POM愛媛ひめぼん」「POM愛媛ぽんかん」などジュース109ケースを贈りました。

松山市のJA愛媛で12月3日に行った贈呈式では、関岡光昭県本部長が同協議会の杉野洋介常務理事に目録を手渡し、同協議会からJA全農えひめに感謝状が贈られました。

この取り組みは、社会貢献活動の一環として、県内児童福祉施設の子どもたちが明るいお正月を迎えられるように昭和59年から毎年実施しており、今回で38回目です。



関岡県本部長(左)と杉野常務(右)

農協・漁協・森林組合・経済連・青果連

等にお勤め「特例一時金」を受けとれます!

令和2年6月15日から令和3年3月15日までに54万3千人の方に2,339億円の一時金※2をお支払いしました!

しかし、住所が未登録の方は一時金を受け取るための手続き書類をお送りすることができていません!

※1 平成14年3月31日までに1年以上の農林年金の組合員期間がある方 ※2 対象団体は農協、漁協、森林組合、農業共済、厚生連病院、土地改良区、農業会議、たばこ耕作組合、農業信用基金協会など
※3 厚生年金保険制度及び農林漁業団体職員共済組合制度の統合を図るための農林漁業団体職員共済組合法等を廃止する等の法律(平成30年5月25日)に基づき支給する特例一時金

お問い合わせください

フリーダイヤル
0120-199-155

受付時間:9時~17時(土・日・祝日を除く)



農林年金
農林漁業団体職員共済組合

農林漁業団体職員共済組合
(農林年金)住所登録センター

東京都台東区秋葉原2-3

詳しくは「農林年金」で検索!

農林年金

✉ kanrichoshu@norin-nenkin.or.jp



愛媛県農林年金連絡協議会



ツイッター
@norin_nenkin
で検索



かんきつ農家です。紅まどんなは最高です。ゼリーの食感、甘み、酸味ともに素晴らしい。全国へ認知度向上とPRをお願いしたい。

(今治市・PN：ヨッサンさん)

④紅まどんなはゼリーのような独特の食感や味が病みつきになりますよね。これからも各メディアへの発信やSNS等を通じてさらなる知名度向上に努めていきたいと思っています！

エッセイを読んで。私はみかん農家の方が親戚にたくさんいるのでみかんは買うものではなく貰うものと思っていました。しかしみかんを作るのにはいろいろ苦労があり大変ということを知りました。1個ずつ味わいながら食べていきたいです。

(松山市：松本弓愛さん)

④我家もどちらかといえば「みかんは貰うもの」という認識で過ごしてきましたが、異動で東京に行った際には清水さんと同じようにちょっとした「みかんロス」を味わっていました。これからは1個ずつ

ありがたみを感じながら味わおうと思われされる出来事でした。

Theねっとわーくを読んで。柑橘王国愛媛県産のPRの内容がよくわかりました。コロナ禍で県外でのPR活動は大変だと思いますが、農家のためには大切なことだと思いました。

(松山市・PN：あやこさん)

④年が明けてからも中晩柑をはじめ様々な柑橘が旬を迎えます。コロナに負けないようしっかりPRをしていきます！

「ひめの凜」のさらなる生産について、このブランド米は他の品種に負けていない素晴らしい米です。生産、販売拡大へのポジティブな記事に嬉しく感じました。

(松山市・PN：dodopapa58さん)

④今年で販売開始3年目を迎える「ひめの凜」ですが、非常に人気の高いお米です。これからもどんどんPRしていきたいと思っています！

近年、農家子弟ではなく、愛媛でみかんを作りたいと就農を決意する若者が多くいると聞きます。耕作放棄地が増えているなかで、彼ら彼女らに上手くみかん山が継承できれば昔と変わらないみかん山がずっと続くのではないのでしょうか。

(松前町：田中克也さん)

④若者が一念発起して農業を始めようとしたときに一番障害となるのが土地や施設といったものの確保になるかと思っています。今後も新規就農者に対する支援策を講じていきたいと思っています。

年末年始の時間に余裕がある朝に卵を使ったおいしいおしゃれな朝食を楽しみたいと思います。

(四国中央市・PN：S・Mさん)

④どの卵料理もお手軽かつおいしいものばかりなので、是非紅花卵を使ってお試しください！

編集後記

年が明けて、新型コロナウイルスの感染が爆発的に増えてきました。愛媛県でも連日最多感染数が更新され、私の家族も濃厚接触者になるなど、今まで以上にコロナウイルスの脅威を肌で感じるようになりました。異例づくめの新年スタートになってしまいましたが、万全の対策でもって第6波を乗り切っていきたいと思います。

(純)

今月のクイズ

1月22日～23日に開催された愛媛みかん祭りは今年で第何回？
「第〇〇回」

プレゼント

クイズに正解した方の中から抽選で、図書カード1,000円分を10名様にさしあげます。



応募方法

折り込みハガキにクイズの答えと本誌に対するご意見・感想などをお書き添えの上、ご郵送ください。

締切り

2022年3月15日（当日消印有効）

発表

「あぐり〜ど」4-5月号で発表します。

当選者発表

12月号の答えは「紅まどんな」でした。たくさんのお便りありがとうございました。厳正な抽選の結果、次の10人の方に図書カード1,000円分をお送りします。

植田八重子さん（四国中央市）
寺尾 智美さん（四国中央市）
小西 佳子さん（上島町）
河原 信子さん（松山市）
山内 将裕さん（松山市）
田岡 栄子さん（松山市）
菊地 正夫さん（大洲市）
上田トクミさん（八幡浜市）
米花佐智子さん（八幡浜市）
西本 和さん（八幡浜市）

NOW NOW

COOKING

今月の素材

ブロッコリー



この1本に多種多様な栄養素
野菜の中でもトップクラスの栄養価

▶(右側)ブロッコリーのキッシュ、(左側)ブロッコリーのフリット、
(後)ブロッコリーの芯のポターージュ



指導/愛媛調理製菓専門学校 山崎 翔 先生

ブロッコリーのフリット

〈材料・4人分〉 ※1人あたり約230kcal

ブロッコリー	1/2房
てんぷら粉	100g
水	160cc
① 粉チーズ	20g
乾燥パセリ	適量
ブラックペッパー	適量
マヨネーズ	適量
薄力粉(打ち粉)	適量
揚げ油	適量

〈作り方〉

- ①ブロッコリーを小房に分け、芯の部分に十字の切り込みを入れる。
- ②ボウルで①を混ぜ合わせる。
- ③揚げ油を170～180℃にセットし、①に打ち粉をし、②につけて揚げる。
- ④表面がカラッと揚がれば取り出し、皿に盛り、マヨネーズを添える。

ブロッコリーの芯のポターージュ

〈材料・4人分〉 ※1人あたり約334kcal

ブロッコリーの芯	2本分(約250g)
タマネギ	150g
ジャガイモ	100g
バター	20g
水	500cc
ブイヨンキューブ	1個
生クリーム	200cc
牛乳	200cc
塩・コショウ	適量
クルトン	適量

〈作り方〉

- ①タマネギは繊維を断ち切るように5mm幅に、ジャガイモも5mm幅に切る。
- ②ブロッコリーの芯は薄くスライスする。
- ③鍋にバターとタマネギを入れ、しんなりするまで炒め、②を加え、さらに炒める。
- ④ジャガイモ、水、ブイヨンを加え、ジャガイモが柔らかくなるまで煮込む。
- ⑤ミキサーにかけ裏ごしし、牛乳・生クリームでのばし、ひと沸かしして塩・コショウで味を整え、クルトンを入れる。

ブロッコリーのキッシュ

〈材料・4人分〉 ※1人あたり約191kcal

ブロッコリー	1/4房
タマネギ	1/4房
マッシュルーム	4個
しらす	40g
卵	1個
① 生クリーム	70cc
牛乳	30cc
粉チーズ	20g
塩・コショウ	適量
粉チーズ(仕上げ用)	適量
パイ生地	1枚分

〈作り方〉

- ①ブロッコリーは小房に分ける。
- ②タマネギとマッシュルームはスライスし、サッと炒める。
- ③①をボウルで合わせ、①・②・しらすを混ぜ、塩・コショウで味を整える。
- ④パイ生地を型にはりつけ、③を流し込み、仕上げ用粉チーズを散らし、180℃のオーブンで20～25分焼く。
- ⑤焼き目がつけば取り出し、粗熱を取ってカットし、皿に盛る。



春限定
2月21日発売!



POM
愛媛
オレンジ
ジンド
「サイダー」



愛媛のブラッドオレンジと
炭酸のシュワッと感で
爽やかな酸味と豊かな風味が
楽しめます。

株式会社 えひめ飲料

〒791-8603 松山市安城寺町478番地
TEL: 089-923-1500 FAX: 089-923-1522

<https://www.ehime-inryo.co.jp>
(通販専用) <https://www.pom-j.com>

農薬の
適正使用

防除器具の薬液残留に注意！



1 農薬残留の要因

残留基準値超過の主な要因の一つに「防除器具の洗浄不足」による農薬の混入があります。
栽培品目が異なる場合や葉菜類等の防除の際には、特に注意が必要です。

防除器具に残った農薬が次に使用した作物にかかり、残留農薬として検出されてしまう場合があります。
散布後は、速やかに薬液タンクやホース内の残液を抜き取り、しっかりと洗浄を行いましょう。

2 防除器具の洗浄

－洗浄のポイントと留意点－

- 洗浄用に十分な清水を用意し、薬液タンクやストレーナーだけでなく、散水ホースや散布ノズルまで、丁寧に洗浄します。
※必要に応じてブラシなどで除去してください。
- 洗浄を行う際には、余水側のホースを外して、動噴を作動させ、ポンプや散水ホース内に十分な量の清水を通します。
※内径10mm×長さ50mの散水ホースの場合、容積は約4ℓ 薬液が残っています。
- 洗浄水は、雑草地など農作物や環境に危害を及ぼさない、一定の場所に廃棄しましょう。
※汚水は、排水路や河川等に流し込まないように十分注意しましょう。

写真提供：愛媛県東予地方局農業振興課農産物安全係



薬液タンクの洗浄



吸水・余水ホースの洗浄



散水ホースの洗浄



ストレーナーの洗浄



噴口の洗浄



散水ノズルの洗浄

**農薬の散布後は、防除器具の洗浄を徹底し、日頃から
防除器具の点検と洗浄を習慣づけましょう！**

愛媛県 JA全農えひめ

2022
2-3月号

No.1023

発行／全農愛媛県本部 〒790-8555
編集／総務課 ☎(089)948-5333

松山市南堀端町2番地3
印刷／コープ印刷株式会社

編集人／得能 祐治

VOC
FREE

VOC(揮発性有機化合物)成分フリーの
インキを使用して印刷しました。

UD
FONT



ehimenosyoku

「えひめの食」Instagram
Follow Me!



あぐり〜どはWEBでも読めます

<http://www.eh.zennoh.or.jp>